

3年国語「春風をたどって」(如月かずさ)授業記録

京都の会 3年担任 吉川恵美子

授業記録

*教材文を黒板に貼り、子どもたちが1の場面を読む。

- C 1 変なところがある！6番の「ぼくは、いつかぜったい、しゃしんのけしきを見に行くんだ。」って書いてあるけどさ、なんでさ、「ぜったい」って書いてあるの？(なおき)
- C ほんまや。確かに。(口々に)
- T 1 変か？「ぜったい」が？
- C 2 「ぼくは、いつか、しゃしんのけしきを見に行くんだ。」でいいと思う。「いつか」って、人生の中の「いつか」やから、「ぜったい」っていらんように思う。何年か何か月後かわからんけどさ、「ぜったい」なんていらんのと違う？(なおき)
- C 3 「ぜったい」は、「いつか」を強調してるのと違うの？(しんぺい)
- C ああ。それ。(口々に)
- T 2 いらん言葉ってあるんやろうか、お話の中に？書かした人は、プロですから、全部、必要やから使ってるんやな。でも、なおきさんは、「ぜったい」という言葉がおかしいなあって思ったんやな。ということは、おかしいけど、この言葉は必要なや。これには、意味がありそうや。どんな意味で使ってるんやろう？って考えたら、読みが深められるよ。なおきさん、いいところに気が付いたなあ。こんなふうに、いろいろ出していこうか？とりあえず。
- C 4 7の「そのとき、クルル、とルウのおながが鳴りました。そろそろお昼ごはんの時間です。」の次、「ルウは、みがるに」って、なんで、「みがるに」って書いてあるんやろう？(しんぺい)
- C ああ、ほんまや！でも、どんな生物も、ちょんてさ、すぐに下りられるで。(口々に)
- T 3 りすは、みがるやのに、わざわざ、書いてある。なんか、意味ありそう。
- C 5 4番の「風の強い日にどこからかとばされてきた、たくさんのしゃしんです。」は、「たくさんの」ではなくて、「なんまいものしゃしん」にしたらだめなんやろううか？(はる)
- T 4 「なんまいもの」ではなくて、「たくさんの」という言葉が使ってるんやな。君は、何枚かが知りたいの？
- C 6 なんで、「たくさんの」という言葉なのかが知りたい。
- C 7 何枚かは、書いてるよ。「青くすき通った海」「雪をかぶった白一色の山々」「黄金にかがやくさばく」って。(そう①)
- T 5 おお、3枚なん？

- C 違う！（口々に）
- C 8 「青くすき通った海」とか「雪をかぶった白一色の山々」とか「黄金にかがやくさばく」とかを別の場所で撮った写真が、いっぱい飛んできたってこと。（なおき）
- C 9 ううん。たとえば、青空の写真とか・・・？（かいせい）
- C 10 すばらしいけしき「ばかり」って書いてあるから、他に、まだ、いっぱいあるんやと思う。（りくと）
- C ああ、ほんまや。「ばかり」って書いてあるわ！（口々に）
- T 6 3枚やったら、「ばかり」とは言わへんか。
- C 11 ぼくは、枚数を言ってるんやなくて、なんで、「たくさん」って書いてあるのかを知りたい。（はる）
- C 「多くの」でもいいもんな。（口々に）
- T 7 こんなふう、「この人は、なんで、このことを疑問に思っはるんやろう？」って考えるんやで。わからへんかったら、先生は、訊いてるやろう？みんなもこんなふう、訊いてや。もう、ない？
- C 12 3番で、「ふさふさしたしっぽをたいくつそうにゆらしながら」ってあるけど、なんで、「ふさふさしたしっぽをゆらしながら」でもいいのに、「たいくつそうに」って書いてあるんやろう？
- C ああ！書いてある！（口々に）
- T 8 「たいくつ」って何？
- C （口々に）
- C 13 ひま？（かこ）
- T 9 おお、ひまってこと？
- C 14 「旅に出たいなあ。」って書いてあって、それで、あの、出たいけど、出れない・・・？
- C ああ！
- T 10 これ、出たいけど、出られへんの？
- C （口々に）
- C 15 普通、旅に出られるんやったら、「旅に出よう。」って言う。（なおき）
- T 11 「旅に出たいなあ。」と言うのは、すぐに出られるのか出られないのか。どっち？
- 指示調べ 1 すぐ出られる 1人
2 出られない 26人
- C 16 ゆずさんの意見を聞いたら、意見が変わるかもしれないから、ゆずさんに聞いてみよう。（なおき）
- C そうしよう。
- C 17 森とかを探したら、まだ、いろんなものが見つかると思ってるから、そこを見てから行こうと思ってる。
- C それは違う。そう思うのはまだや。（口々に）

- T 12 ルウは、この森にすてきなところがあるって思ってるの？
C 思っていない！（口々に）
- C 18 4段落の「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜんわくわくしないよね。」
って言ってる。（ともひと）
- C 19 5番の「見なれたけしき」で、見なれてるから、わくわくしない。（しんべい）
- T 13 「見なれたけしき」って、どういうこと？
- C 20 3段落の「たいくつそうにゆらしながら」があって、毎日見てるから、見慣れてる。
（そう①）
- T 14 「見なれる」ってどういうこと？
- C 21 何回も見たことがあって、毎日のように見ている。（まさき）
- T 15 たとえば、みんなが見なれたけしきって、どこ？
C 教室。家の中。登校の道。公園。
- T 16 「見なれたけしき」って、いい意味で言うたはんの？悪い意味で言うたはんの？
C 悪い意味。
- C 22 見慣れてるから、どこ行ってもおもしろない。（いずみ）
- T 17 見飽きた感じ？
C うん！
- T 18 ということは、ゆずさん、わかった？森は、見飽きて、もう、見るもんないなあって、
この時、ルウは思ってるのでいい？それでOK？
- C 23 うん。（ゆず）
- T 19 ということは、「旅に出たいなあ。」って、おそらく、出られないのか？
C うん、出られない。
- T 20 どこに書いてるの？
- C 24 6番の「ちっぽけなりすにはたどり着くことができない、遠い遠いばしょにあるのだ
ろう」（ひさ）
- T 21 誰が言わはったん？
C ものしりりす。
- C 25 それがどこにあるかはわからへん。（まさき）
- T 22 ものしりりすは、いろんなことを知ってはるんやな。その人が言うんやから、確かか。
- C 26 まだ、証拠ある。2段落に「りすのルウは、さいきん、そんなことばかり言っていま
す。」って書いてあるから、まだ、旅に出られないでいる。（そう①）
- T 23 じゃあ、ここで、問題作りしてほしい。（ここ；「りすのルウは、さいきん、そんなこ
とばかり言っています。」）
- C 27 なんで、そんなことばかり言ってるのか。（しんべい）
- C 28 なんで、「さいきん」なのか。（はる）
- C 29 「さいきん」は、いつからか。（ひさ）

- T 24 おお！こういう問題が作れたらいいなあ。これについては、どう思う？
- C 30 風の強い日に、どこからかたくさんのしゃしんが飛んできて、それを見た日から、旅に出たいなあと思った。(はると)
- C ああ！
- T 25 どう？それでいい？違う人は？
- C ない。
- T 26 じゃあ、みんなと言って。いつから？
- C 風の強い日に、どこからか、たくさんの写真が飛んできて、ルウのたから物になったときから。(口々に)
- T 27 なんで、これがたから物になったときから、「旅に出たいなあ。」って言い始めたんやろう？
- C 31 青くすき通った海とか、雪をかぶった白一色の山々とか、黄金にかがやくさばくとかの写真を見て、「旅に出たいな。」って言った。(ともひと)
- C 32 とてもきれいなけしきだったから、行きたくなかった。(さら)
- C 33 「すばらしいけしきばかり」って4番に書いてある。(ひさ)
- T 28 でもさあ、近くにもあるかもしれんやんか。近くで探したらええのになあ。
- C 34 さっき言ってたけど、ルウは、森を知り尽くしてるから、森には、もうないと思ってる。(はる)
- T 29 でも、たから物のしゃしんは、「すばらしいけしきばかり」っていうことは、一枚ぐらゐすばらしくないしゃしんはあるの？
- C いや、ない。一枚も、すばらしくないものはない。(口々に)
- *板書で、整理「たから物のしゃしん」と「森のけしき」の対比
- C 35 どれも「すばらしいしゃしんばかり」なんやけどさ、どれも、ルウが見たこともないけしきやったからということもあると思う。「どれもルウが見たことのない」って、4段落に書いてある。(はると)
- C ほんまや。(口々に)
- T 30 じゃあ、「旅に出たいけど、出られない」っていう気持ちで、ルウは、「旅に出たいなあ。」って言ってるというのは、みんな納得？
- C うん。
- T 31 ほんなら、読んでみて。
- C 36 「旅に出たいなあ。」(しんぺい)
- T 32 しんぺいさんののが、①な。
- C 37 「旅に出たいなあ。」(ゆず)
- T 33 違いをわかってや。
- C 38 「旅に出たいなあ。」(なおき)
- C なんか、みんな似てる感じ。(口々に)

- C 34 「旅に出たいなあ。」(はる)
C 35 「旅に出たいなあ。」(ひさ)
C 36 「旅に出たいなあ。」(かいせい)
T 34 違いは、わかる？
C 37 速さとか？
T 35 気持ちの違いは？どんな気持ちで、ルウは言ったん？①「旅に出たいなあ。」(明るく)
と言ったのか、②「旅に出たいなあ。」(おもしろくなさそうに) どっち？

指示調べ ① 7人

② 20人

- T 36 書いてある言葉で、証拠。
C 38 ぼくは、①で、おもしろくないなら、「さいきん、そんなことばかり言っています。」
にはならへんと思う。おもしろくないなら、何回も言わへん。(りくと)
C 39 ①で、「それでもぼくは、いつかぜったい、しゃしんのけしきを見に行くんだ。」って
いってるから。(ひさ)
C 40 おもしろくないのは、森のけしきやで。(なおき)
C 41 ②で、4段落に「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしな
いよね。」って書いてるからさ、その言い方は、おもしろくなさそう。(さら)
T 37 そこ言ってみて。
C 42 「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしないよね。」(かい
せい)
C 43 ちょっと、速いなあ。(口々に)
C 43 「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしないよね。」(しん
ぺい)
C 44 「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしないよね。」(そう
①)
C 45 「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしないよね。」(なお
き)
C 46 「それにくらべて、この森のけしきってさ、ぜんぜん、わくわくしないよね。」(かい
せい)
C 47 みんな、②の言い方やん。(なおき)
C 48 ほんまや。②や。(口々に)
C 48 まだ、②の証拠あるで。3段落で、「たいくつそうにゆらしながら」って書いてる。
(そう①)
C 49 ②に変えます。(しんぺい)

